

1 王寺町総合計画後期基本計画 (兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略)の策定について

王寺町では、平成31(2019)年に王寺町総合計画基本構想(計画期間 2019～2028 年度)及び前期基本計画(計画期間 2019～2023 年度)を策定、令和2(2020)年には、王寺町総合計画前期基本計画の内容を反映した「第2期王寺町総合戦略(計画期間 2020～2023 年度)を策定し、地方創生に向けた取組を進めてきました。

国においては、令和4(2022)年12月、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が策定され、デジタルの力を活用しつつ、地域の個性を生かしながら社会課題解決や魅力向上の取組を加速化・深化することとされました。

この「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を勘案しつつ、住民アンケート及び町民ワークショップにより現在の町の課題やニーズを把握し、王寺町総合計画審議会(兼 総合戦略懇話会)での各分野(産官学金言デジタル)の有識者による「王寺町総合計画前期基本計画」及び「第2期王寺町総合戦略」の効果検証を踏まえ、「王寺町総合計画後期基本計画(兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略)」として取りまとめました。

●SDGsについて

持続可能な開発目標(SDGs)は、国連サミットで採択された2030年を期限とする国際社会全体の17の開発目標で、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指して、経済・社会・環境を巡る広範な課題解決に統合的に取り組むものです。

本町でもSDGsを意識して取組を進めるため、第2期王寺町総合戦略と同様、具体的施策ごとに関連するSDGsのロゴマークを付加しました。

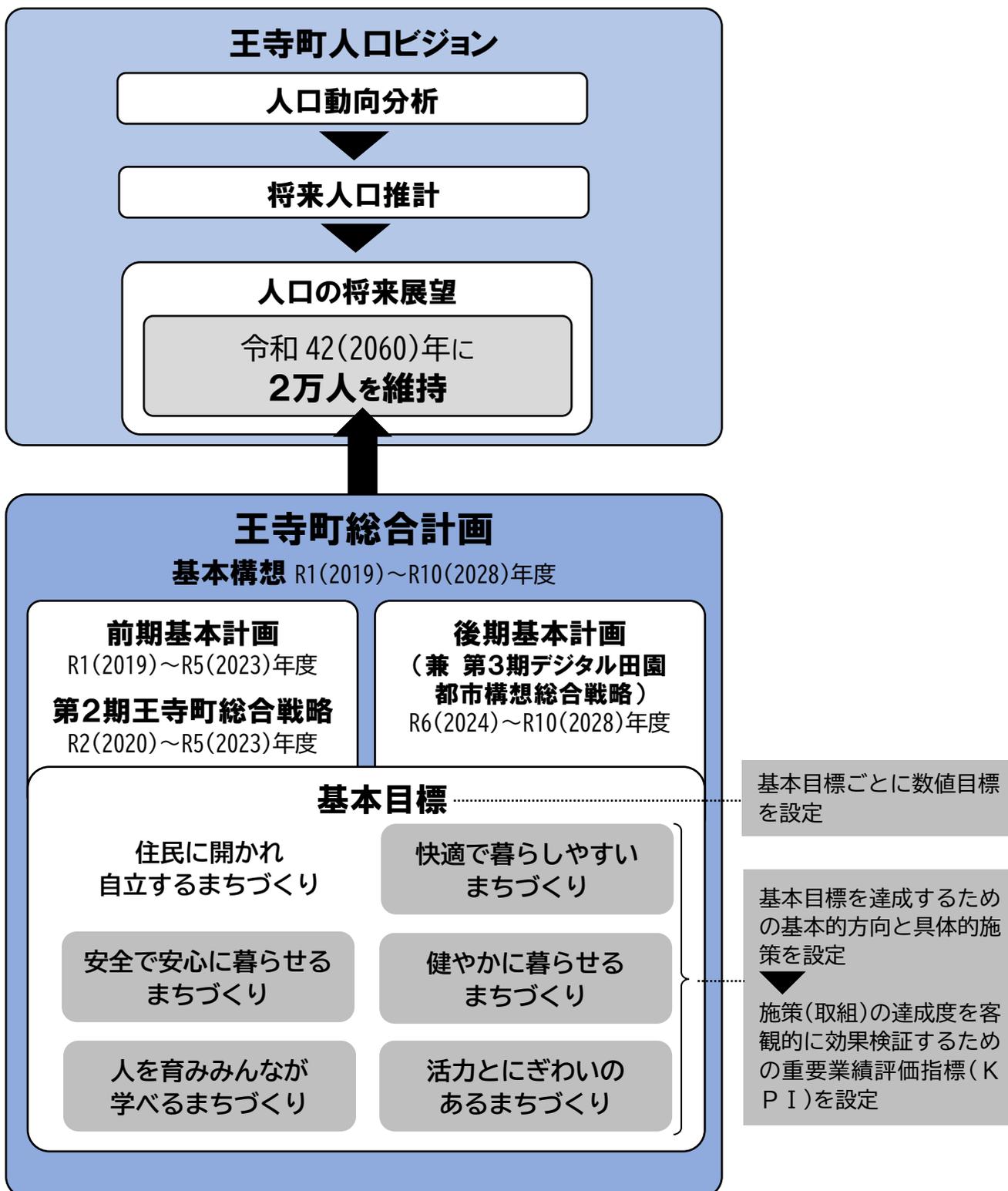


2 本計画の位置づけ

「王寺町総合計画後期基本計画(兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略)」は、町政運営の基本的な指針及びこれを具体化するための計画である「総合計画」の「後期基本計画」と「王寺町人口ビジョン」における人口の将来見込みを達成するため、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を勘案しデジタルの力を活用して地域課題の解決や魅力化に取り組む「第3期デジタル田園都市構想総合戦略」を一体的に策定したものです。

6つの基本目標にそれぞれ**数値目標**を設定し、基本目標を達成するための基本的方向及び具体的施策をまとめました。また、各具体的施策については、施策（取組）の達成度を客観的に効果検証するための**重要業績評価指標(KPI)**を設定しています。

なお、施策（取組）の推進に当たっては、町民の皆様と協働で取り組むことで将来にわたって活力ある社会を目指すものです。



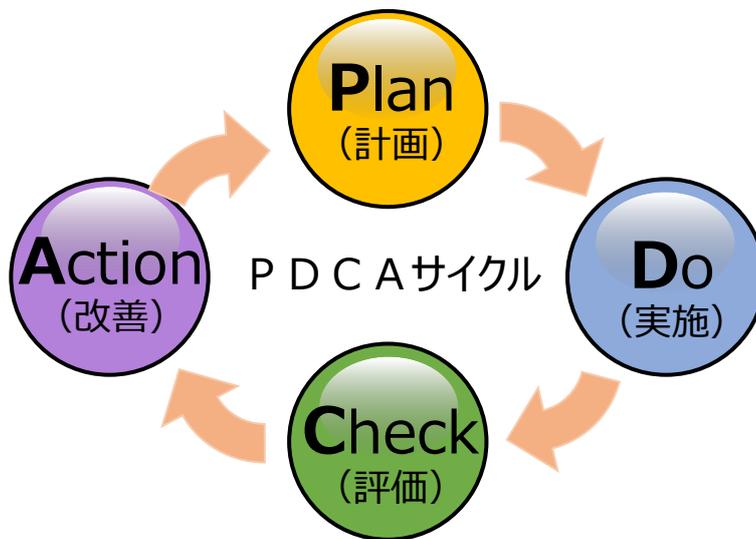
3 計画期間

「王寺町総合計画後期基本計画(兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略)」の計画期間は、令和6(2024)年度から令和10(2028)年度までの5年間とします。

4 本計画の効果検証と改善

本計画に位置づける施策(取組)を実効性のあるものとするため、PDCAサイクルを確立し、毎年度、施策(取組)の効果検証を行うとともに、その結果を踏まえ、見直しが必要となる場合は改定を行います。

また、効果検証を含め、実行段階においても、産官学金言デジタルなど多様な主体で構成される「王寺町総合計画審議会(兼 総合戦略懇話会)」からの幅広いご意見を施策(取組)の参考としていく予定です。



<総合戦略におけるPDCAサイクル>

- P (Plan: 計画) 本計画の策定
- D (Do: 実施) 施策(取組)の着実な実施
- C (Check: 評価) 実施した施策(取組)の効果をKPI等により検証
- A (Action: 改善) 必要に応じた本計画の改定